

医療機能連携協定を締結

かりゆし病院 六日市病院 災害時の相互協力も

医療法人上善会（崎濱秀一理事長）が運営するかりゆし病院（橋本孝来院長）は10日、情報交換により医療技術の向上を図ろうと、介護療養型老人保健施設を兼ね備える六日市病院（谷

浦博之院長）と島根県鹿足郡古賀町六日市と医療機能連携協定を締結した。情報交換のほか人事交流、災害時の相互協力・支援なども行う。橋本院長が、救命処置の講習会で、谷浦院長と知り合ったのがきっかけ。地域医療の思いや、医師ら医療従事者不足などの悩みが共通していることから、互いに連携して高い地域医療を実現しようと協定にこぎつけた。

医療機能連携協定締結

社会医療法人 石州会 六日市病院
医療法人 上善会 かりゆし病院



医療連携協定書に調印し、握手をするかりゆし病院の橋本孝来院長（右）と六日市病院の谷浦博之院長。10日午後、かりゆし病院

かりゆし病院で同日午後、行われた調印式で橋本院長は「質の高い情報を持つパートナーがいると、大きな力になる。それぞれ地域の患者のために学んでいきたい」。谷浦院長は「石垣島は3度目だが、皆さんのホスピタリティーに感動している。いろんな情報を与えてもらいたい」と話した。

六日市病院がある古賀町は、山口県境の島根県最南端に位置し、人口は約6520人。同病院は一般病床50床、医療療養病床60床、介護療養型老人保健施設154床を有する。